

# 米など新変異株流行

## 「EG・5」WHOが注目

【ニューヨーク】ロ

イター】米国、欧州、  
アジアで新型コロナウ  
イルスの感染と入院が  
増加しています。公衆  
衛生当局は、2021  
年11月に初めて出現し  
たオミクロン株の派生  
型株EG・5=「ヒリ  
ス」に注目しています。

世界保健機関（WH  
O）は、「エリス」と呼  
ばれるEG・5を「注  
目すべき変異株」に分  
類し、より強い感染力  
や重症化の危険をも  
たらす変異の可能性が  
あり、他の変異株より  
も注意深く監視すべ  
きだと指摘しています。

す。

同時にWHOは、現  
時点では他の変異株ほ  
ど公衆衛生上の大きな  
脅威をもたらすもので  
はない、「EG・5が  
重症化度を強めている  
との直接の因果関係に  
ついての確認はない」  
と説明しています。  
WHOによると、E  
G・5は8日現在、50  
カ国以上で発見されて  
います。米疾病対策セ  
ンター（CDC）のデータによると、同株は  
米国内では最も一般的  
で、かつ急速に拡大し  
ている新型コロナウイ  
ルスの変異株で、現在  
CDCの推定では、

の約17%を占めると推  
定されています。

XBB・1・5は、22  
年後半に出現し、5日  
現在でも依然、感染の  
10%以上の原因となっ  
ています。CDC所長  
のマンティー・コーエ  
ン博士は最近のインタ  
ビューで、9月の第3  
週か第4週までに新た  
なワクチンが米国で広  
く利用可能になるだろ  
うと述べました。